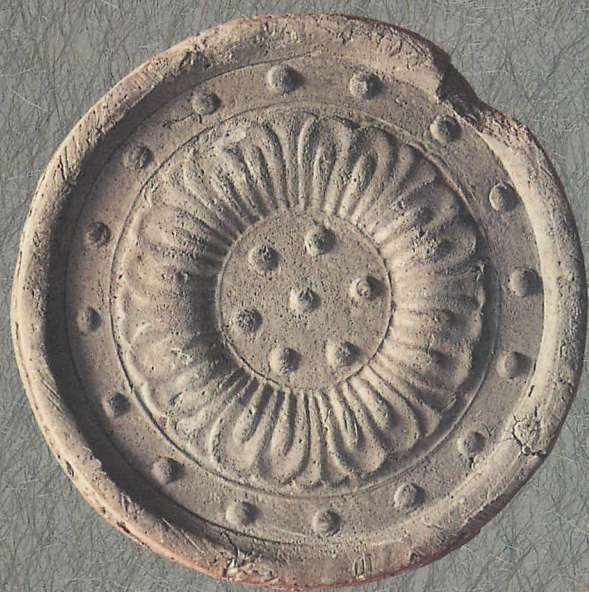


東山道と信濃国分寺



目次

口 絵

刊行のことば

上田市誌刊行会長

上田市長 平尾哲男

監修のことば

東京大学名誉教授・前国立歴史民俗博物館長 石井 進

まえがき

凡 例

はじめに.....1

第一章 正倉院宝物が語る上田小県地方

第一節 律令政治と上田小県地方5

一 正倉院宝物と信濃.....5

(1) 世界の宝庫―正倉院.....5

正倉院 正倉院宝物と信濃

(2) 小県郡からの宝物.....5

芥子の布袋に小県郡の名 芥子は中男作物 麻布の紐の心に海野郷爪工部 宝物の物語ること

ちいさがた 『記紀』の記録と小さい県 国県制 『隋書』にみられる稲置 県とは

小県郡名の起こり(1) 小県郡名の起こり(2) 小県とは小子部氏の県

(3) 信濃国造と小県郡	13
生島足島神 安曾(宗)の地名	
二 律令国家の地方政治	14
大化の改新と公地公民の制 大宝律令と律令国家 地方の政治 国司と国府	
信濃国司の初見 信濃の国府 郡と郡司 郡衙と大領・少領 里(り)と戸籍 郷戸と房戸	
郷里制 消えた里	
三 律令時代の税と兵役	19
班田収授の法 租 調 庸 雜徭 義倉と出挙 兵役 軍団の装備	
軍団制から健児制へ こんでい坂 衛士 防人 女性の労働	
第二節 『万葉集』と上田小県地方	24
一 『万葉集』と信濃	24
『万葉集』 防人歌三首 大伴家持と防人歌	
二 防人と農民	26
崎守 防人の任務 防人と東国	
三 『万葉集』の東歌	27
信濃国にかかわる東歌	
四 小県郡と東歌	28
信濃道は……と保福寺峠 彼の児ろと……と浦野 信濃なる……と須我の荒野	
第三節 上田小県地方にみられる古代の渡来人の足跡	32
一 大陸文化の伝来	32
渡来人 技術者集団 部民と伴造	

二	渡来人と小県郡……………	33
	史書にみられる渡来人	小県郡への渡来人
	白髭神社	今後の課題
第二章 上田市域を通る東山道		
第一節	『延喜式』にみられる七つの駅路……………	41
	道の役割	駅路
	地域名もあらわす七道	
第二節	上田地方を通る東山道……………	45
一	上田地域に至る東山道信濃路の道筋……………	45
	信濃国駅馬	神坂峠
	木曾路	神坂峠から阿知駅
	伊那谷の駅路	駅路と伝路
	古東山道	須芳山嶺道
	松本平の東山道	東山道の支線
二	上田小県地方の東山道……………	59
	錦織駅から浦野駅	青木村川西地域の発掘調査から
	駅家の構造	浦野駅から曰理駅
	曰理駅から清水駅	上田市における古道の発見
三	小諸から東の東山道……………	71
	浅間山麓の東山道	碓氷坂
	東山道の変遷と終焉	道が運ぶ文化

第三章 信濃国府と信濃国分寺

第一節 律令制度の確立と国府

一 律令制度の確立

蘇我氏の滅亡

大化の改新

改新の詔と国づくり

白村江の戦と壬申の乱

律令制度の形成

律令制度の確立

律令形成期の都と信濃

二 国府のつくりとはたらき

国府とは

国庁・国衙の発掘例

国衙周辺の地名

国衙のはたらき

三 信濃国府と上田

『和名類聚鈔』国郡部

国衙の位置を探して

幅の広い道路跡を発見

こうのだいとその周辺

初期国府の推定の位置

四 信濃国府の移転

信濃国府の移転

五 律令政治と口分田班給のゆるみ

農民の逃亡

口分田班給のゆるみ

私有化される土地

律令政治のゆるみ

第二節 信濃国分寺の創建と上田地方

一 国分寺建立の発願

信濃国分寺史跡公園

仏教の伝来

飛鳥寺の建立

仏教の興隆

律令国家と仏教

国分寺建立の詔

二 国分寺建立事業の推移

中央からの支援	郡司の協力	大仏と東大寺の造営	国分寺造営の督促と完成	104
三	信濃国分寺跡の発掘調査とその意義			

信濃国分寺跡の研究	信濃国分寺跡の発掘調査	第一次発掘調査	第二次発掘調査	
第三次発掘調査	第四次・第五次発掘調査	第六次・第七次発掘調査	僧寺跡の遺構	
僧寺跡の伽藍配置	中門跡	金堂跡	講堂跡	回廊跡
塔跡	僧坊跡	築地跡		
尼寺跡の遺構	中門跡	金堂跡	講堂跡	回廊跡
経蔵跡	尼坊跡	北門跡		
瓦窯跡の遺構	信濃国分寺と関係する窯跡群	信濃国分寺跡の出土遺物	瓦類	鐙瓦
宇瓦	鬼瓦	丸瓦	平瓦	堤瓦
文字瓦	土器	陶器	硯	鉄釘
古銭				
四	信濃国分寺の興隆と衰退			

九世紀の信濃国分寺	国分寺の附属施設と明神前遺跡	墨書土器	一〇世紀の信濃国分寺
一一世紀の信濃国分寺	信濃国分寺の移転と復興		

第四章 平安初期の上田地方

第一節 『延喜式』と小県郡		147
---------------	-------	-----

郡名と郷名	延喜式の信濃の一〇郡
-------	------------

第二節 『和名抄』と小県七郷		148
----------------	-------	-----

和名抄の郡と郷	小県郡七郷	童女郷	海野郷から童女郷へ	山家郷	須波郷	跡部郷
安宗郷	福田郷	海部郷	余戸郷	信濃国の郷		

第三節 『日本靈異記』の説話	154
----------------	-----

一 他田舎人蝦夷と跡目里	154
--------------	-----

仏教説話	重いはかりで人のものをとる	他田氏
------	---------------	-----

二 大伴連忍勝と嬢里	157
------------	-----

善悪の報い	大伴氏
-------	-----

三 二つの説話から	159
-----------	-----

写経	郷と里
----	-----

第四節 古代の神社と『延喜式神名帳』	160
--------------------	-----

一 国司が祭りをする国つ神	160
---------------	-----

延喜式の神の数	延喜式より以前は
---------	----------

二 上田地方の古社	162
-----------	-----

上田地方の古代の神社	生嶋足嶋神社	馬背神と馬背神社	塩野神と塩野神社
------------	--------	----------	----------

八縣宿祢神と五加の八幡宮

三 神への祈り	165
---------	-----

神への祈り

第五節 古代の牧と上田小畠地方	166
-----------------	-----

一 古代の牧	166
--------	-----

古墳時代の馬具	中央政府の馬の役所	勅旨牧	信濃国の勅使牧
---------	-----------	-----	---------

二 塩原牧	168
-------	-----

馬背神と駒弓神	付近に残る牧地名	浦野塩原の地名	塩原牧の成立	跡目里と塩原郷
---------	----------	---------	--------	---------

第六節	上田市域に残る条里的遺構	170
-----	--------------	-----

一	条里的遺構について	170
---	-----------	-----

条里制と条里的遺構	条里的遺構の調査研究
-----------	------------

二	条里的遺構の分布	174
---	----------	-----

染屋台地	千曲川北岸地区	千曲川南岸地区	塩田地区	浦野川地区	神川左岸地区
------	---------	---------	------	-------	--------

第五章 上田地方の古代人のくらし

第一節	奈良・平安時代の上田盆地	181
-----	--------------	-----

一	庶民のくらしと住まい	181
---	------------	-----

律令制下の市域	庶民のくらし	住まいの変化	かまどのある住居	奈良・平安時代のムラ
---------	--------	--------	----------	------------

二	生活の道具	184
---	-------	-----

土師器と須恵器	施釉陶器	その他の道具
---------	------	--------

第二節	上田市域の奈良・平安時代遺跡	187
-----	----------------	-----

一	遺跡の広がり	187
---	--------	-----

上田市域の遺跡分布

二	神川東岸の遺跡	187
---	---------	-----

第一より第二段丘面に多い	林之郷遺跡	太田・法楽寺遺跡	神林遺跡
--------------	-------	----------	------

三	千曲川北岸の遺跡	194
---	----------	-----

神科台地面から国分寺跡面まで	宮平遺跡	古城遺跡	上沖遺跡	殿田遺跡	明神前遺跡
----------------	------	------	------	------	-------

国分寺周辺遺跡群

四 千曲川南岸の遺跡

自然堤防上の遺跡 上田原遺跡

198

五 塩田平の遺跡

杵木遺跡 西光坊遺跡 天神遺跡 中井遺跡 堰口ノ一遺跡 宮の前遺跡

199

六 浦野川流域の遺跡

浦野川流域の遺跡 琵琶塚遺跡 高田遺跡 藤之木遺跡 浦田遺跡 駕籠田遺跡
そのほかの遺跡

202

おわりに

206

執筆分担

あとがき

参考文献

上田市誌の編さん組織

表紙 八葉複弁蓮華文軒丸瓦当(上)と均斉唐草文軒平瓦瓦当(下)

裏表紙 信濃国分寺僧寺講堂跡

上田市誌 歴史編(3)

東山道と信濃国分寺

発行 平成十二年十一月一日

編集者 上田市誌編さん委員会

発行者 上田市

上田市誌刊行会

上田市大手一―一―一六

電話 〇二六八―三―四一〇〇

印刷所 信毎書籍印刷株式会社

長野市西和田四七〇